

9日目 7月23日

会 場： 松江市営野球場

第1試合		～準々決勝～																
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
立正大淞南	0	0	0	0	0	1	0	1	0							2	5	0
開 星	0	0	0	0	0	0	0	5	X							5	6	0
(投手-捕手)																		
・ (淞)	小坂→日野→山下 - 谷川																	
・ (開)	曾田→百合澤 - 蓮池																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (淞)													興梠					
・ (開)													前井出					
(審判) [球審] 城市		[一塁] 吉岡				[二塁] 引野				[三塁] 佐々井								
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(淞)	40	5	2	0	0	1	9	9	3	1	11	0		0	0	0	0	0
(開)	41	6	5	0	0	1	3	2	0	0	3	0		0	0	0	0	0

「開星、前井出の一発で無敗王者を撃破！」

大会9日目の第1試合から、いよいよ準々決勝が始まった。第1シードの立正大淞南に強豪私立の開星が挑む、松江市のライバル対決となった。会場が両校のある松江なこともあり、今大会で最も観客が多かった。立正大淞南は左腕の小坂、開星はいつも通り2年生左腕の曾田が先発した。

試合は、5回まで立正大淞南が走者を置くことが多い展開だった。3回表、立正大淞南は四球と犠打で2死2塁とし、3番福島脩がセンターへの安打を放つも、中堅手肥田の好返球で本塁刺殺となり開星が先制点を防いだ。試合が動いたのは6回表、立正大淞南は2死1・2塁から7番坂川が変化球に泳ぎながらもライト前へ安打を放つと、右翼手の好返球で本塁クロスプレーとなるが2塁走者が生還し先制点を挙げる。なおも2死2・3塁だったが、開星の2番手百合澤が後続を抑え最少失点に抑える。立正大淞南は8回表にも6番興梠がレフトスタンドへ本塁打を放ち1点を追加し勝負あったかに見えた。

しかし、開星は8回裏、安打と四球で1死満塁とし、2番の主将山西が直球を詰まりながらも、打球は三遊間を破る意地の2点適時打で同点に追いつく。続く3番の前井出が3番手山下の甘く入った直球を捉え3点本塁打を放ち、怒濤の攻撃で一気に逆転した。最後は、百合澤が1番から始まる好打順を抑え、県内無敗の王者を破り準決勝進出を決めた。

